

「産業社会と人間」学習指導案

指導者 和歌山県立有田中央高等学校

教諭 兼次 佐代子

- 1.日時 平成25年2月8日(金)第2限目 2.場所 1年4組教室 3.学年 1年4組(16名)
- 4.生徒観 明るく元気な生徒が多い。しかしけじめがつきにくく集中が途切れやすい生徒も多い。
- 5.単元 インターンシップ 事後指導
- 6.単元目標 インターンシップでの体験から、今後の高校生活の過ごし方を考える。
- 7.本時の目標 クラス内発表を聞き、今後の高校生活で何をしていくべきか、特に2年から始まる系列別の授業の取り組み方を考える。
- 8.本時の創意工夫(5観点について①～⑤)
 - ① 本時の内容を板書する。
 - ② 板書や説明は簡潔に行う。
 - ③ 3～4人のグループで、話し合いのルール of 徹底・役割分担を行う。
 - ④ お互いの感想を交換・発表する時間をとる。
 - ⑤ 授業の始まりと終わりの規律を徹底する。
- 9.本時の展開

	学習内容	学習活動(生徒の活動)	・指導の留意点*支援 (教師の活動)	学習 形態	創意工夫 ①～⑤
導 入	・あいさつ ・前回のスピーチを振り返らせ、本日の学習内容を知る。	・前回(達成できた・成功したこと)の内容や、意義について再度確認する。	・起立～着席までの指導 ・黒板に学習内容を表示し学習の見通しをもたせる。 ・前回の授業の資料を掲示し、振り返りと、本時の作業のイメージをもたせる。	全体	⑤ ① ②
展 開	・グループに分かれて①②③について話し合う。	・異業種別グループに分かれる。	・グループの役割を連絡。 ・話し合いのルールについて確認。	グ ル ー プ	② ③
	インターンシップ中、難しいと感じたこと・注意されたことは何？				
		①実習中の問題点を話しあう。			
	それを解決するには、どんな力が必要？				
		②『問題点』解決のために「必要な力」はなにか考える。	・机間巡視を行い、適宜指導を行う。		
その力をつけるには、高校生活でどんなことをしておかなきゃいけない？					
	・グループで発表	③「必要な力」をつけるためにどんな「行動」が必要か考えさせる。	③は、具体的な例を提示し、話し合いを促す。		
ま と め	・ワークシートに記入。 ・次時の予告をす る。 ・あいさつ	・座席を戻し、ワークシートに取り組む。 ・本時を振り返り、次時の内容を確認する。	・本時のねらいに沿った内容を記入できている生徒がいれば、発表させる。	個人	④ ⑤